



## 【 事例発表 】

「“もっと”いい和盲に！」

和歌山県立和歌山盲学校 校長 松下 香好  
育友会代表 前田 直美



### 学校と学校運営協議会が一体で学校づくりに取り組む体制へ

**課題の共有** 教職員の視覚障害教育の専門性の継承や自立と社会参加

**熟議** 学校運営協議会において学校を本気で応援する、本気で協議する

**取組**

- ①キャリア教育の充実（ヘルスキーパーの制度）
- ②地域とのつながり再構築（老人会の方と点字バッグ作り、点字ブロックの啓発活動）
- ③専門性の継承（大学教員や元校長からのアドバイス）
- ④情報の発信（新聞・テレビ・ラジオの取材）

**今後** 学校運営協議会を「応援団」としてとらえ、みんなの当事者意識を高めていく。地域にとって盲学校が当たり前の存在に。

**学校運営協議会が人と地域を動かし、学校と社会をつなぐ！**

## 【 グループワーク 】 ワールドカフェ

### 対話と共有から生まれる気づきと学び

#### 1回目 実践発表から

#### 【キーワード】

- 働き方改革
- 居場所づくり
- 連携システム
- ご意見番×→応援団○
- 地域の方々の協力
- 遊び心
- 持続可能なコミュニティスクール
- 熟議
- ゆるやかに繋がる
- 空きスペース
- Win-Winの関係
- もっといい

#### 2回目 12枚のカードを使って

- 学校運営協議会では協議をしながら、もっと気軽に話せるといいのにな！
- これまでにとらわれすぎず、みんなで少しずつつくっていききたい！
- 情報交換をして地域のことを知ってもらいたい、誇りをもってほしい！
- こどもの居場所づくりや安心して過ごせる環境づくりなど、学校の課題をみんなで考えていきたい！

